

謹んで初春のお慶びを申し上げます。
戸畠区自治総連合会並びに市民防災会連合会の会員の皆様には、日ごろから区政の推進にご協力を賜り、地域の防犯・防災、町内美化や見守り活動など「戸畠区のまちづくり」にご尽力をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月には浅生スポーツセンターと都島球場がオープンしました。この施設はスポーツ環境の充実や健康の増進、地域コミュニティの



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より戸畠区自治総連合会並びに市民防災会連合会にご支援、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。平成28年を顧みますと、地震、台風や火山噴火など多くの災害がもたらされました。とりわけ4月に発生した熊本・大分地震により、多くの人命や家屋が失われたことは記憶に新しいところです。

戸畠区自治総連合会と市民防災会連合会は、被災された方々の一日も早い復興を願うとともに、被災の現状や復興に向けた取り組みを学ぶため、11月に熊本県を視察しました。この視察研修で学んだことを今後の地域防災活動に役立て、より一層災害時の連携対応や住みやすい地域づくりのための活動に鋭意取り組んでいます。

新しい年を迎えて、戸畠区自治総連合会・市民防災会連合会は、防災や防犯に対し高い意識を持ち、活動への参加の輪を広げ、誰もが住みやすいまちづくりができるよう努力してまいります。会員の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年が皆様方にとて、健康でご多幸な年になりますよう祈念しまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成29年 元旦



発行年月日 平成29年1月1日
発行 北九州市戸畠区
千防一丁目1番1号
北九州市戸畠区自治総連合会
(戸畠区役所コミュニティ支援課内)
発行責任者 会長 永井 博文
電話 871-1501代

赤い羽根 共同募金

福岡県共同募金会北九州市戸畠区支会

県知事特別表彰受賞

共同募金運動70年を記念して、本支会が県知事特別表彰を受賞しました。

●ご協力ありがとうございました

10月から12月までの間、全国で赤い羽根の共同募金運動が実施されました。期間中、地域の皆様からの個別募金、街頭募金や物品販売などに多数ご協力をいただき、ありがとうございました。

皆様からの貴重なご寄付は、地域の支えあいの活動から災害時の支援まで、「じぶんの町を良くする」活動に幅広く使用させていただきます。

JR戸畠駅前での街頭募金活動

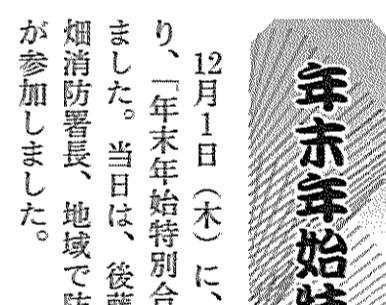


パトロールに出発する生活安全パトロール隊

活性化を図るなど、市のスポーツ拠点として整備されました。新たな施設を大いに使っていただきたいと思います。また、12月には、200年を超える歴史をもつ戸畠祇園大山笠行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

さらには、旧安川邸を改修し、平成31年度には一般公開されることになりました。

新しい年を迎え、戸畠区の新たな展開に向けて、こ



パトロールに出発する生活安全パトロール隊

年末年始特別警戒合同出動式

12月1日(木)に、戸畠防犯協会連合会などの主催により、「年末年始特別合同出動式」が汐井町公園で開催されました。当日は、後藤戸畠区長、谷戸畠警察署長、松本戸畠消防署長、地域で防犯活動に取組む自治会の関係者など



が参加しました。

福岡市の福岡管区気象台にて各種自然災害のメカニズム等を学習しました。その後、熊本市内や益城町にて、4月に発生した熊本地震の被害状況を視察しました。

今回の研修により、自然災害の怖さを学び、改めて近隣とのコミュニケーションや防災体制の重要性を認識させられました。

平成28年度合同役員視察研修

11月8日(火)、9日(水)に戸畠区

自治総連合会、戸畠区環境衛生協会連合会、戸畠区市民防災会による合同役員視察研修を行いました。

謹賀新年
平成二十九年元旦



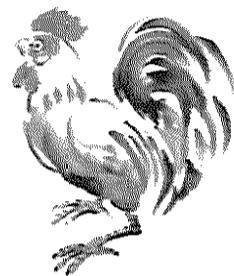
ふれあいのある 住みよいまちを 一緒につくりましょう！



謹賀新年

災害のない一年でありますように
皆様方のご多幸とご健康を祈念します

戸畠消防署長 松本 裕二



119の日

江戸端会長によるスプレー式消火器実演



牧山東地区で毎年恒例となっている「牧山東いっせい火の用心」が11月9日（水）に実施されました。

戸端会長が挨拶した後、戸

牧山東“いっせい火の用心”を実施

牧山東地区市民防災会 決意表明の唱和後、4つのグループに分かれて消防車の先導を受けて、拍子木を打ちながら牧山東地域内を巡回して防火パトロールを行いました。



地域を巡回する参加者と消防隊員

平成28年熊本地震 熊本城や益城町の被害を視察



気象観測機器の説明を受ける参加者

平成28年11月8日（火）、9日（水）の二日間、戸畠区自治連合会、戸畠区衛生協会連合会及び戸畠区市民防災会連合会の三団体合同による、防災に関する視察研修を実施しました。

最初に訪問した福岡市の福岡管区気象台では、地震や台風、竜巻などの各種自然災害の発生メカニズムや観測方法を学習し、気象台の実際の監視・観測施設内を見学しました。

気象台広報係長との意見交換会では、各種災害に関する活発な意見や質問が出ていました。

次に訪れた熊本県益城町では、熊本地震発生当時の状況や、避難所での生活など、実際に地震を体験された現地ガイドによる説明を受けながら益城町の地震被害状況を視察することができました。

4月の地震から約半年が経過した益城町でしたが、未だに倒壊したまま手付かずの住宅や、屋根の応急対策のためブルーシートを掛けている住



大部分が崩壊した石垣

宅も数多く、地震の恐ろしさを痛感しました。地震発生直後は、近隣の方々が結束して応急対策に当たったとの説明を受け、災害発生時における地域の結束の重要性を再認識させられました。

最後に訪問した熊本城では、立ち入り禁止区域外からの視察でしたが、美しい佇まいの熊本城は見る影も無く、石垣は至る所で倒壊し、天守閣の屋根瓦は全て崩落しており、その被害の甚大さに、参加者は声を失っていました。



屋根瓦が剥がれ無残な姿の熊本城天守閣

今回の防災に関する研修では、災害に対する人間の無力さを痛感させられるとともに、近隣の共助体制の必要性とその重要性を再認識させられた二日間でした。

熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今回の視察研修で学習した内容を、今後の地域防災活動に役立てていきます。

発行年月日 平成29年1月1日
発行 北九州市戸畠区
新池二丁目1番15号
北九州市戸畠区市民防災会連合会
(戸畠消防署予防課内)
発行責任者 会長 永井博文
電話 861-0119㈹

向こう三軒両隣り

みんなで気配り助け合い



消防に関する相談

■消防訓練・救急講習などは
戸畠消防署 861-0119
戸畠消防署大谷出張所 883-0119
■災害情報を聞きたいときは
トキーサービス 582-1234

「住宅防火訪問」 実施中！ 戸畠消防署

◆訪問内容

住宅火災での高齢者・障がい者等の死亡率が高いことに鑑み、消防局では住宅防火対策の一環として消防隊が高齢者宅等を訪問する「住宅防火訪問」を毎年実施しています。この住宅防火訪問では、実際に高齢者宅等を訪問し、防火指導や住宅用防止器具等の設置促進を図ります。

訪問者の自宅に消防隊が直接お伺いし、訪問先の玄関先において、広報チラシを活用し、住宅火災の実態や住宅用火災警報器の適正設置等に係る防火啓発を実施するとともに、地域の特性に応じた防災指導や家具転倒防止器具等の設置促進を図ります。

住宅用火災警報器設置しましたか？

北九州市では、平成21年6月から市内全ての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務となっています。

住宅火災で死亡に至った主な原因是「逃げ遅れ」であり、過去5年間に於いて、北九州市内で発生した住宅火災で亡くなった方の大半の住宅用火災警報器が設置されていませんでした。

大切な命を守るためにも「住宅用火災警報器」の設置が必要です！

10年たったら本体交換を！

- ・月に1回程度、作動確認をしましょう。
- ・半年に1度は掃除機等でホコリを取り除くなどのお手入れをしてください。
- ・電池切れの際、設置から10年経過していたら本体の交換をおすすめします。
- （電子部品（センサー等）が劣化している場合があります）